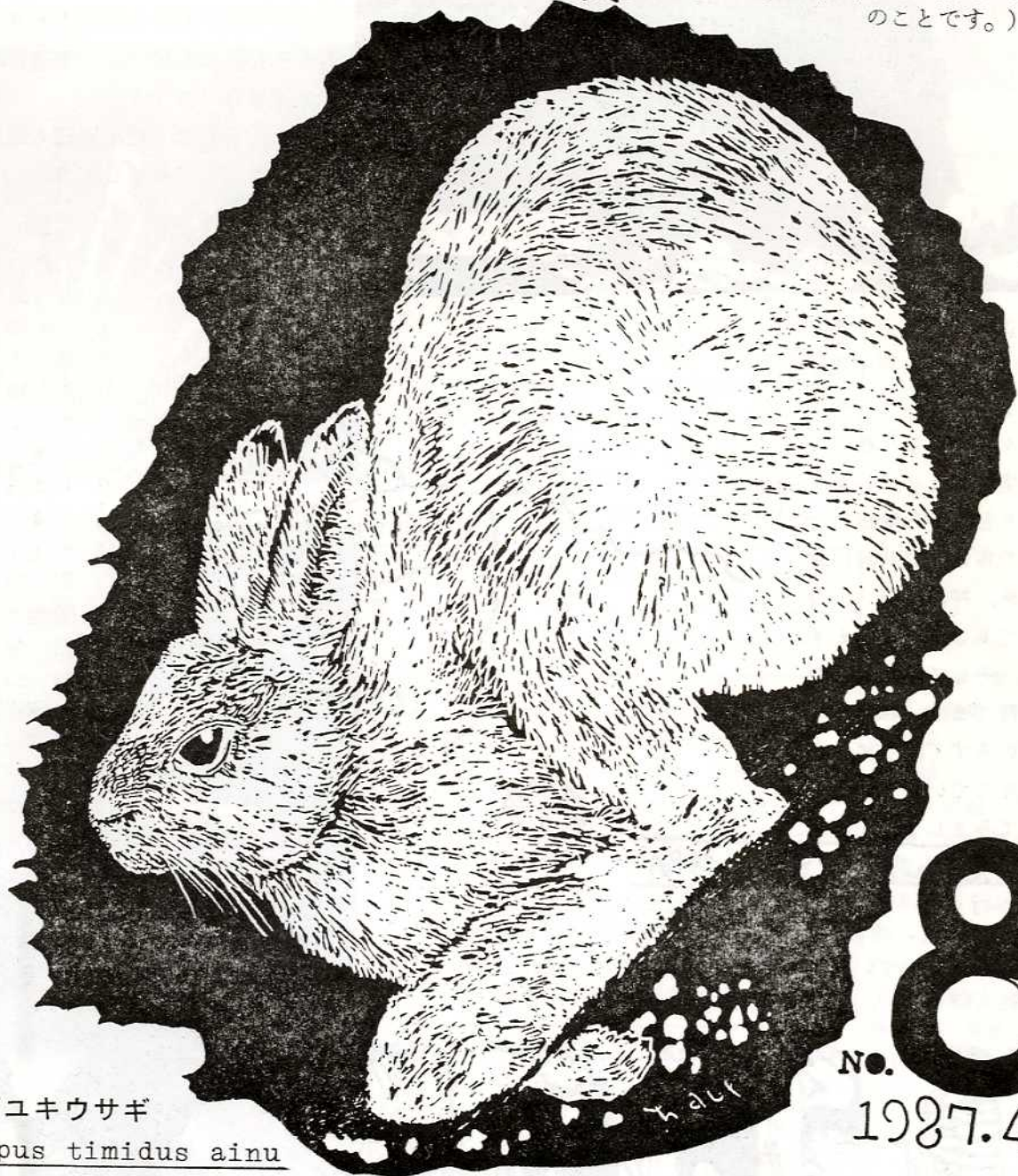




モユク・カムイ

★モユク・カムイ (アイヌ語でエゾタヌキのことです。)



No. 8
1987.4.

エゾユキウサギ

Lepus timidus ainu

今年の冬はいつもの年にくらべ、長くきびしい冬でした。でもそれだけに冬をたくさん楽しみました。雪の上、あちこちに、けものや鳥の足あとが点々となっているのを見つけると、他の季節ではとても出会うことができない動物達に出会ったような気持ちになります。キタキツネやエゾリス、エゾライチョウなどにも会いました。とても珍しいエゾクロテンも見つけました。もちろんエゾユキウサギもいました。そして春になり、皆、またわからなくなりました。

春だ！鳥を見に出かけよう

旭川周辺の野鳥



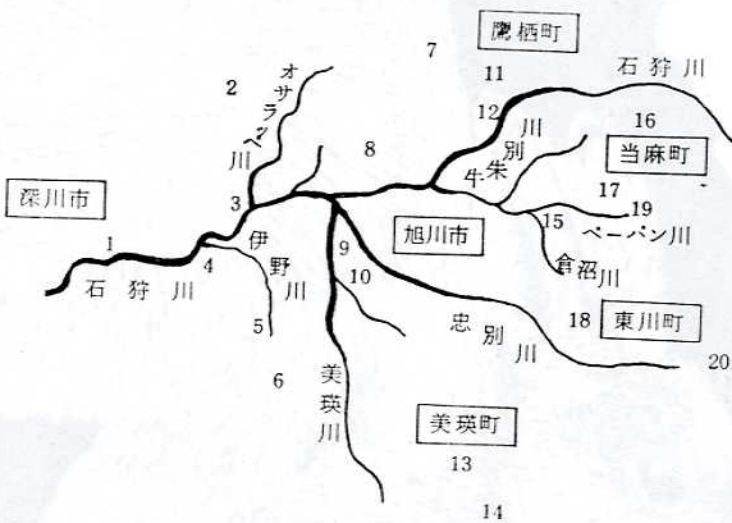
エゾライチョウ

長かった冬もようやく終り、春になりました。

木々も新緑につつまれ、いろいろな花が咲き始め、今が一番美しい季節です。そして、鳥たちも大きくなります。春から初夏にかけて、北海道は鳥たちの楽園になりますよ。

さて、今回は「旭川周辺の野鳥」についてお話ししてみましょう。

旭川周辺は大雪山や十勝岳連峰からたくさんの川が集まっています。そして丘や小高い山々が連なり豊かな自然環境をつくっています。春になると北から南からたくさんの鳥が集まり、河川林や丘の林、神社の森、山の中などで美しい声でさえずります。そして巣をつくりヒナを育てます。私たちの住んでいるすぐ隣りに、鳥たちも住んでいます。そつと訪ねてみましょう。



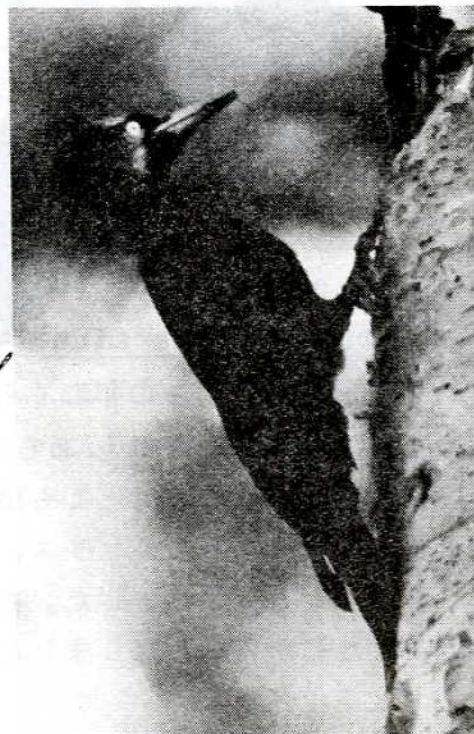
- 1 カムイコタン
- 2 江丹別ダム
- 3 嵐山
- 4 台場
- 5 富沢
- 6 雨粉
- 7 丸山
- 8 春光台
- 9 見本林
- 10 神楽岡
- 11 キトウシ
- 12 男山
- 13 聖台ダム
- 14 白金
- 15 旭山
- 16 当麻鐘乳洞
- 17 21世紀の森
- 18 ベーパン
- 19 キトウシ
- 20 ユコマンベツ

旭川で見られるキツツキの仲間

春の森へ行くと、どこからともなく聞こえてきます。「トントン・・・」「ドドド・・・」。キツツキの仲間が枯木などをたたいているのです。ドラミングとよばれています。雄も雌も行い、なわばり宣言や交信に使われます。



●日本で記録されている11種のキツツキのうち北海道には8種すんでいます。



準備はいいかな？心がまえはできたかな？

鳥を野外で見分けるには、

- いつも鳥を見る心構えを持つ。スズメ、ハト、カラスなども大きさの基準となるのでよく見る。
- 野鳥図鑑をいつも手元におく。
- 良い双眼鏡を持つ。8倍位が一番使いやすい。
- 鳥のポイントを覚える。大きさ、目立つ色・形・動作歩き方、飛び方、鳴き声など。



旭川周辺の野鳥リスト エゾフクロウ (5月～10月)

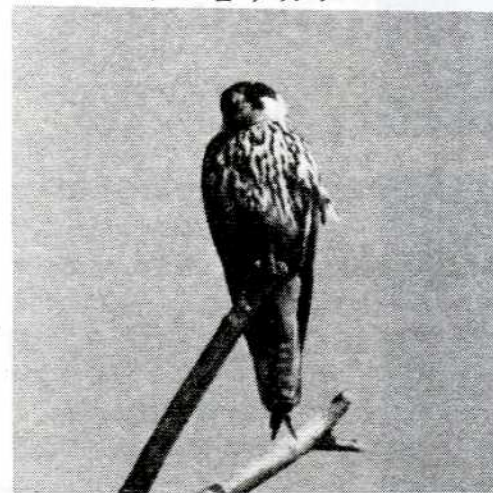
| 種名 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 備考 |
|----------|----|----|----|----|----|-----|-------------|
| アオサギ | | | | | | | 石狩川・江丹別 |
| オシドリ | | | | | | | 江丹別川他 |
| マガモ | | | | | | | 各地の水辺で繁殖 |
| カワアイサ | | | | | | | 石狩川 |
| ハイタカ | | | | | | | 繁殖 |
| チゴハヤブサ | | | | | | | 旭川周辺は多い |
| エゾライチョウ | | | | | | | 近年激減 |
| バシ | | | | | | | 水辺 |
| ヤマシギ | | | | | | | 各地で繁殖 |
| オオジシギ | | | | | | | オーストラリアから渡る |
| キジバト | | | | | | | 春早くから鳴く |
| カッコウ | | | | | | | 5月中旬から鳴く |
| ツツドリ | | | | | | | 森の中に多い |
| コノハズク | | | | | | | 嵐山・富沢他 |
| エゾフクロウ | | | | | | | 各地の森で繁殖 |
| ヨタカ | | | | | | | 地面に営巣・夜型 |
| ジョウドウツバメ | | | | | | | 忠別川・美瑛川 |
| カワセミ | | | | | | | 年々減ってきている |
| クマゲラ | | | | | | | 嵐山・雨粉・白金 |
| エゾアカゲラ | | | | | | | 春早くからドラミング |
| ヒバリ | | | | | | | 草原に多い |
| ハクセキレイ | | | | | | | 越冬するものもいる |
| エゾヒヨドリ | | | | | | | 春、よく鳴く |
| モズ | | | | | | | 初秋によく鳴く |
| カワガラス | | | | | | | 川の上流にいる |
| コルリ | | | | | | | 春光台で営巣 |
| ウグイス | | | | | | | 多い |
| オオヨシキリ | | | | | | | 多い |
| キビタキ | | | | | | | 嵐山・神楽岡 |
| シジュウカラ | | | | | | | 多い |
| ホオジロ | | | | | | | 嵐山他各地 |
| アオジ | | | | | | | 多い |
| カワラヒワ | | | | | | | 河川敷林 |
| イカル | | | | | | | 富沢他 |
| ムクドリ | | | | | | | 群れをよく見る |



オオジシギ



シジュウカラ

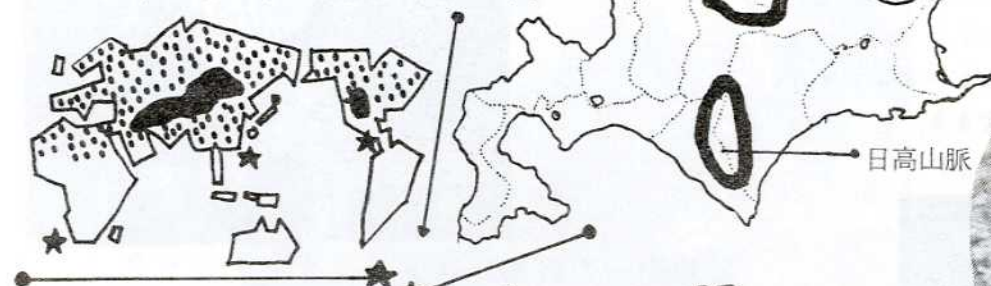


チゴハヤブサ

旭山動物園では、昨年からは野鳥の公開展示を始めました。キレンジャクやキツツキの仲間をよく観察することができます。それから森の中へ入るのもいい方法ですよ。

野ウサギ

ウサギの仲間は世界中に広く分布し、昔から人間と深い関係をもってきた動物の一つで、2科58種に分類されています。



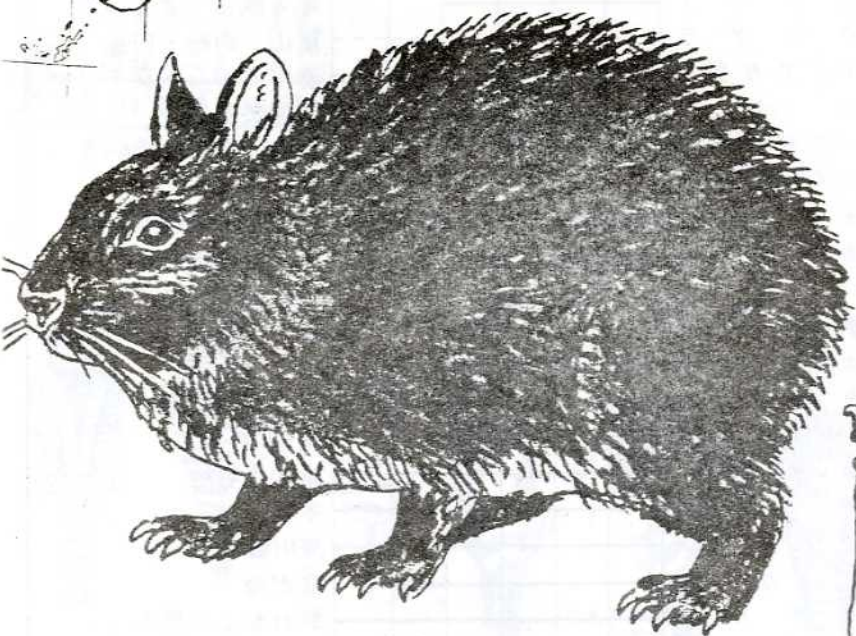
日本の野ウサギ

日本には、北海道のエゾユキウサギ、エゾアキウサギ、本州のノウサギ、奄美諸島にすむアマミノクロウサギの4種類の野生ウサギが生息しています。

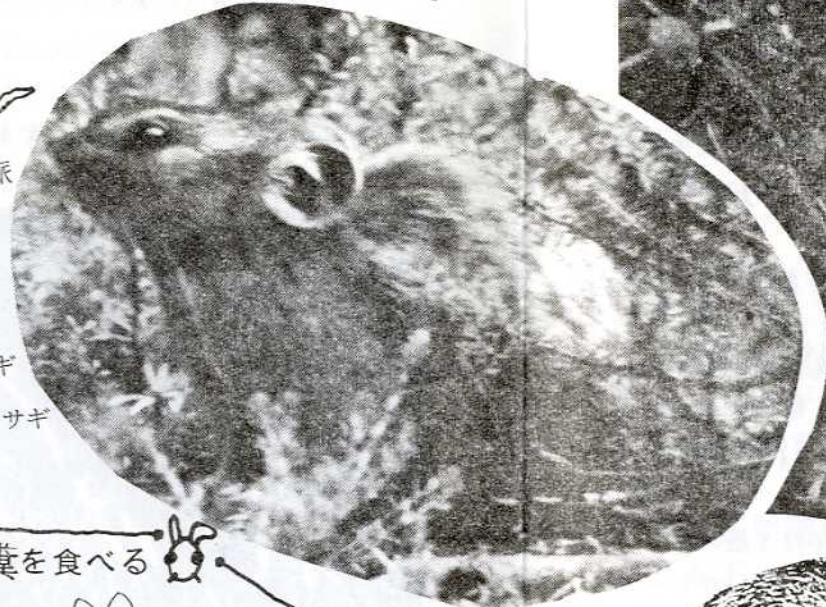
- エゾユキウサギ
- トウホクノウサギ
- キュウシュウノウサギ
- A サドノウサギ
- B オキノウサギ

九州の南方、奄美大島と徳之島の山深い森に生息する。体長約50cm。全身まっ黒で足も耳も短い。原始的なウサギで、この仲間はメキシコ、南アフリカにしかない。特別天然記念物に指定されているが数は少ない。

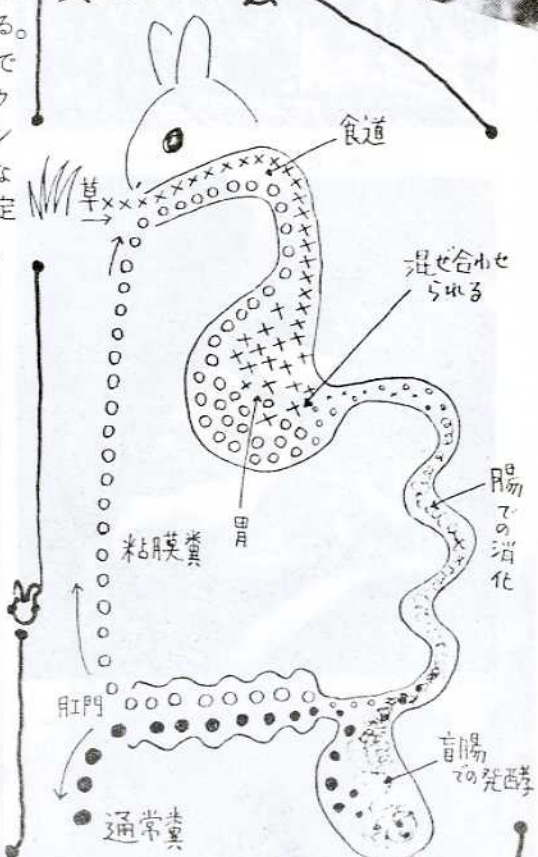
★アマミノクロウサギ



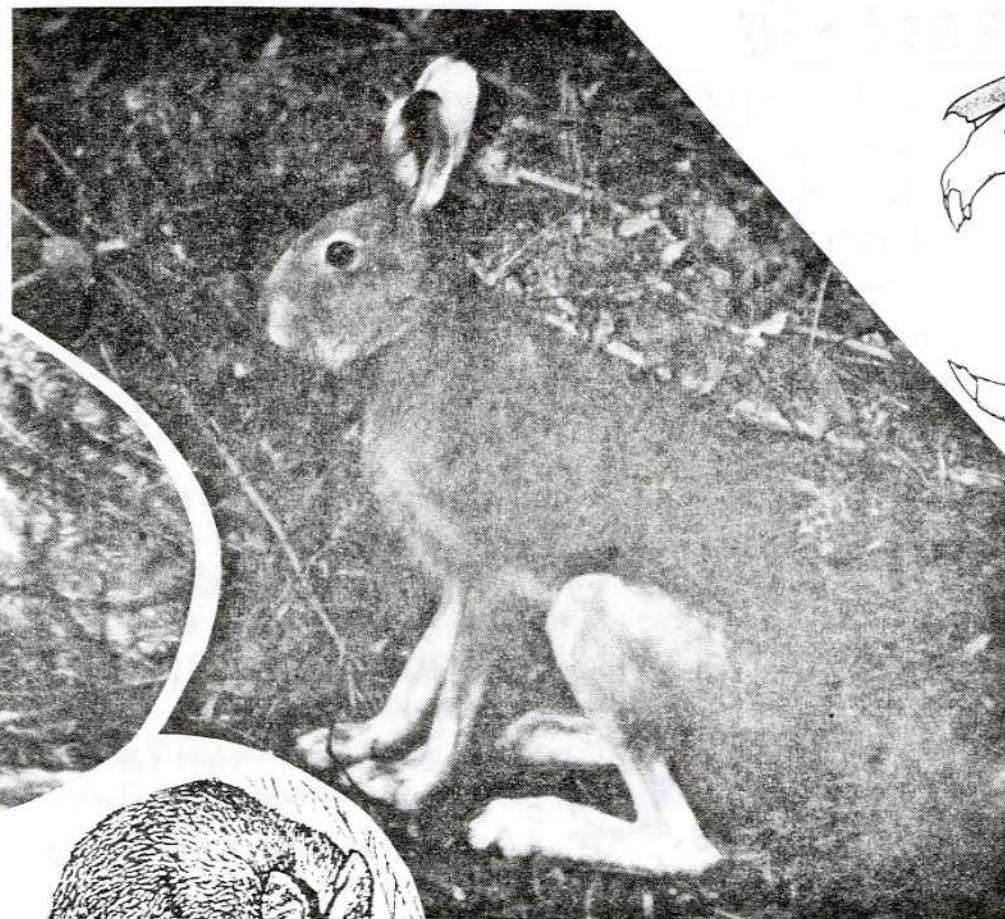
エゾナキウサギ 北海道の高山帯のガレ場などにすむ小さなウサギ。「ピキッ」とかん高い声でよく鳴き、氷河時代の生きた化石として有名である。



糞を食べる



ウサギは2種類の糞、草を固めたような丸い糞と黒いべとつとした糞をする。ウサギは盲腸が発達しており、盲腸の中でバクテリアによる消化が行われる。食べられる糞は盲腸を通らず、直接結腸に行き、粘膜でつままれて排泄され、ビタミンB12を中心に多くのビタミン類が含まれている。糞を食べさせないと栄養失調になってしまう。



エゾユキウサギ

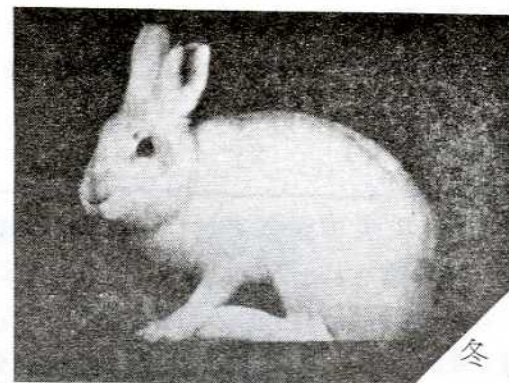
エゾユキウサギと本州のノウサギはよく似ているが別種である。旭山動物園では現在6頭飼育展示している。

カイウサギ ヨーロッパ原産のアノウサギが家畜化したウサギ。

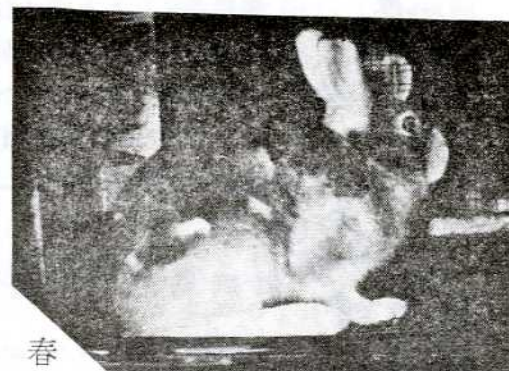
毛の色が変わる

保護色の例として、ウサギの毛がわりは良く知られている。冬、純白であったものが、夏にはこげ茶色になり、じっとしていれば見つけることは難しい。

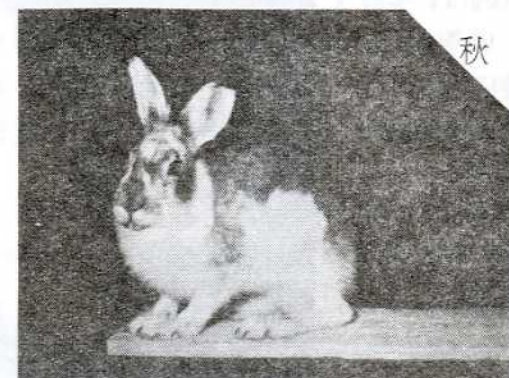
この毛がわりは日照時間の変化と関係しており、春、日が長くなると、白い毛が抜けて下から短いこげ茶色の毛が生えてきて、秋、日が短くなるとこげ茶色の毛が長い白色にかわる。



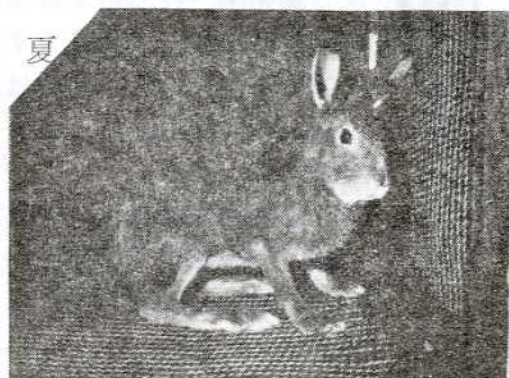
冬



春



秋



夏



ネズミに似て伸び続ける門歯を持つが、上あごの門歯が二重になっている。



みんなから → ひと言 → みんなへ

「ブォッブォッ・・・」今年の冬もひげをまっ白にさせて、マイナス30度を体験しました。

(カバ)



角が落ちたのは3月末でした。たくさんの枝角に分かれた。ものすごく大きい角です。これから少しずつ新しい角が生えてきます。

(ワピチ)



メスのハナちゃんが左手に大けがをしました。何かにひっかけたのか、手のひらから人さし指にかけて深く切っていました。麻酔をかけ、6針もぬう手術でした。10日後抜糸。傷口はきれいになり無事退院しました。(シロテテナガザル)

タミコにとって旭川のきびしい冬は初めての経験でした。あまりのシバシバに下痢が続いた日もありました。ようやく暖かくなり、餌もどんどん食べ、今では元気いっぱいです。(キリン)



新しいメニューにブロッコリーが加わりました。ゴンはよく食べますがマリの方は嫌みたいです。(ゴリラ)

まだまだしばらくの3月の初め、ヒナが2羽かえりました。白くてフワフワ。(コクチョウ)



冬中、アザラシ池は厚い氷におおわれます。空気あなを自分で開けて、ブカーとそのあなから顔を出します。流水気分でしたよ。(ゴマフアザラシ)



今、恋の季節まっ最中。今年は5組のカップルができました。何頭のかわいい赤ちゃんが産れるかな。(エゾリス)



長女リノ6歳、長男リキ2歳、2人(?)とも元気で春を迎えています。(チンパンジー)



秋田の動物園からやって来たフタコブラクダの子供は元気いっぱいです。飼育係のおじさん達によくなれています。大きな目をパチクリさせてついてきます。姉さんラクダのチビコとも仲良し。2頭で毎日雪の中をかけ回っていましたよ。(フタコブラクダ)



毎年冬になると抜け毛がひどく困っています。今年は思い切って「毛は薬」を餌に混ぜてみました。効果?さあ、まだわかりません。(アカゲザル)



冬の間、園内はとても静かです。人の声はまったくありません。ところが、シーンとした園内にとつぜん「ピンポンポン、連絡をいたします…」と放送がかかりました。すると皆んなして、「ウォーウォー」と遠ぼえを始めます。放送の声が必ずKさんの声の時だけでしたけど (オオカミ)



動物園 傷病鳥獣の保護~ 傷ついたり、弱ったりした野生動物は、主に動物園などの施設で救護されることが多いようです。昭和61年度中、旭山動物園に保護収容された動物は48種127点です。それらのうち無事自然界へ復帰できたのは38点、約3割で、76点、約6割の動物が死亡しました。

動物園へ持ち込まれる原因は、ヒナとか子どもといった幼体が約40%と最も多く、内科系、外科系と続いております。10年前に比較すると、幼体保護は19%で、外科系、内科系について第3位でした。最近には特に小鳥のヒナが持ち込まれることが多くなっているようです。かわいいからと言ってヒナを連れ帰り、あとで困ってしまう例もあるようです。

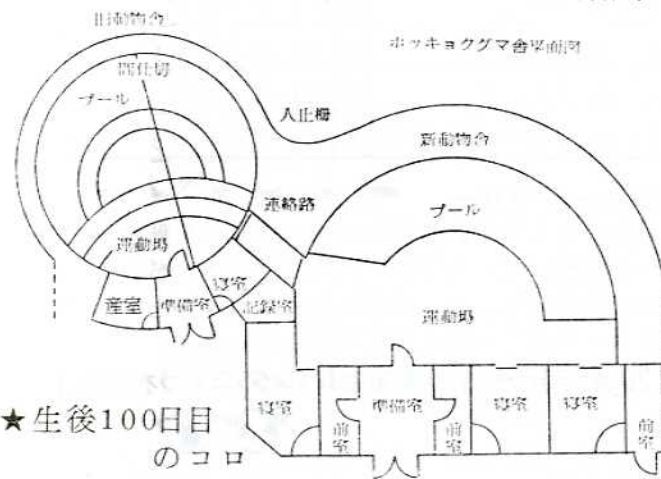
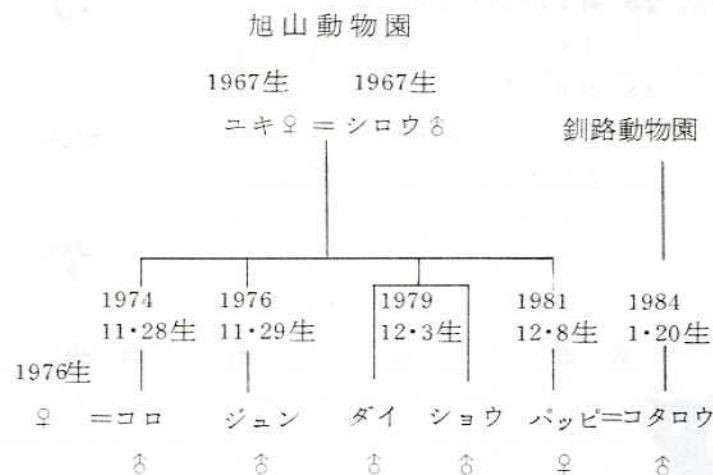
野生動物をかわいがるといえることは、餌を与えることでもなく、抱いて頭をなでてやることでもありません。野生動物が生き続けられるような環境を守ってやることではないでしょうか。



ホッキョクグマの繁殖センターをめざして

1974年11月28日、ホッキョクグマのユキは1頭の子を出産しました。前の年、最初の仔の育児に失敗してしまいましたが、今度はまっ暗にした寝室の中で、落ちついて出産できました。この仔はコロと命名され、日本の動物園生まれ第1号となったのです。その後ユキは3回の繁殖に成功し、全部で5頭のホッキョクグマを育てました。もちろん日本一です。

ユキの体重は250kg、こんな大きなホッキョクグマが250g前後の小さな赤ちゃんを産みます。お母さんの体重のたった1/1000です。お母さんのお腹の中にいる期間(妊娠期間)は7~9か月で、ライオンやトラ(約4か月で1200g前後の仔を産む)よりもずっと長くお腹の中で育てられるのに、ずっと小さな赤ちゃんを産むのです。クマは広い行動圏をもち、オスもメスも1頭ずつ暮らしています。いつオスとメスが出会い妊娠できるか分かりません。出産は厳しい冬の間、一番安全な巣穴の中で行われます。もしも春早く妊娠してしまったり、夏過ぎてから妊娠してしまったり冬ごもりに入る前に出産してしまったり、春になってもまだ巣穴から出られないような事になってしまいます。



★生後100日目のコロ



そこで「いつ妊娠しても冬ごもりに入った頃に出産し、春、巣穴から出て来る頃にはちょうど離乳の時期になっている。」という繁殖方法を獲得したのです。旭山動物園での出産日を見てください。11月28日から12月8日の間に集中しています。交尾は3~7月に見られます。実は妊娠しても受精卵の分割が中止して、子宮の中で着床する時期まで待っています(着床遅滞)。着床するのは出産前60日くらいですので、実際にお腹の中で胎児が育つ期間は2か月しかないのです。

現在、国内産まれの子は7頭(釧路1頭オス:コタロウ、円山1頭)しかいません。うち3頭が旭山動物園で飼育されています。ハッピーとコタロウのペアはまだ幼く、繁殖はあと数年先になりそうです。また念願であったコロの嫁さんが今年ようやくやって来ました。まだまだ見合いの期間ですが、一日も早く結婚してかわいい仔を連れた姿を見せて欲しいものです。次の世代が誕生して初めてホッキョクグマの繁殖センターと言えると思います。

'87. 1 → '87. 4

動物園 日誌 (1月~4月)

- | | | |
|---|--|--|
| <p>1.15 ZOOガイド 北鎮小学校 6年生</p> <p>24 ロウバシガン産卵, 残念ながら失敗</p> <p>25 第119回旭山動物園飼育研究会 「エゾタヌキの繁殖について」坂野</p> <p>28 NHK取材 (~2.5)</p> <p>2. 2 TVアサヒ取材</p> <p>8 ZOOガイド 中小企業同友会</p> <p>18 第120回旭山動物園飼育研究会 「動物のホルモン」坂東</p> <p>26 ZOOガイド 写真集団「閃」</p> | | <p>3.13 アライグマ出産</p> <p>22 チンパンジー-釧路市動物園へ帰る (6月16日より共同繁殖のため来園)</p> <p>28 アカゲザル出産</p> <p>30 アカゲザル出産</p> <p>4. 5 ZOOガイド 勤労青少年ホーム(飼育実習) 開園準備作業始まる。</p> <p>29 昭和62年度旭山動物園開園 オープンパレード 旭川第七小学校 永山南中学校</p> |
|---|--|--|



旭山動物園は、昭和42年7月1日に開設され、今年「成人」の年です。開園20周年を記念して、楽しい行事をたくさん予定しております。ぜひ、動物園へ来て、動物園を楽しんでください。



◎動物資料展示館, 特別展

カバ舎のななめ前に、動物の剥製標本や卵標本などを展示している動物資料展示館があります。1階ホールでパネルを使用した特別展を行っています。

| № | 期 間 | テ - マ |
|---|-----------|------------------------------|
| 1 | 4/29~6/30 | 「小さな動物たち」 ネズミ, リス, ウサギの世界 |
| 2 | 7/15~8/31 | 「バード展」 鳥 |
| 3 | 8/13~8/31 | サマースクール研究発表展 |



◎作品募集

- 児童動物画コンクール 4/29~8/20
 - 動物園パンフレットぬり絵 4/29~6/30
- どんどん応募してください。

◎HBCラジオ公開生放送 5月5日

「ちびっこ歌まね大賞」
歌に自信のある人はぜひ出場してください。

◎サクラまつり 5月10日

写真コンテストやカメラが当たる宝さがしなどがあります。



◎ワンポイントガイド

第1回は5月10日カバの話です。担当の係員がカバの習性やちょっとおもしろい話をします。ふだん見られない動物の表情を見ることができますよ。毎週日曜11時から「動物ウォッチング」。

| № | 月日 | テ - マ | № | 月日 | テ - マ |
|---|------|---------|---|-----|--------|
| 1 | 5.10 | カバ | 5 | 6.7 | アザラシ |
| 2 | 17 | アライグマ | 6 | 14 | ハクチョウ |
| 3 | 24 | カピバラ | 7 | 21 | オオカミ |
| 4 | 31 | ホッキョクグマ | 8 | 28 | ウォンバット |

◎ウォークラリー

動物のことをどれだけ知っていますか? 動物をしっかりと観察していますか? クイズを解きながら動物をみて歩きましょう。小学生から大人までのしめるウォークラリーは6月に予定しています。

◎20周年記念特別講演会「パンダ・コアラを語る」

と き 5月28日

と ころ 文化会館 小ホール



ついに繁殖に成功したパンダ。すくすくと育つ東京都上野動物園の赤ちゃんパンダ「トントン」について、上野動物園浅倉繁春園長が講演いたします。

◎飼育動物数 (3月31日現在)

| | | |
|-----|-----|------|
| 哺乳類 | 39種 | 173点 |
| 鳥類 | 81 | 373 |
| は虫類 | 4 | 22 |
| 計 | 124 | 568 |

モユク・カムイ Ⅷ 8

昭和62年4月29日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 Ⅷ 36-1104
編集人 菅野 浩 編集委員 小菅正夫 阿部 寛